

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20730
事業名	市設街路灯整備費					
評価担当課	所属名	建)土木部 道路維持課				
	課長名	石川 英俊	担当者名	松山 和秀	電話番号	011-211-2632
施策名	主	市民・企業による環境負荷低減の取組の推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	・独立柱の建替えに併せたLED化に加え、電柱共架の街路灯について、LEDへの切替を進めていく。 ・AP2019目標値:市設街路灯におけるLED街路灯の比率56%(2022年)			
		長期	・倒壊、落下などによる第三者被害の発生を防止するため、計画的な建替による更新を進める。 ・建替時には省エネ性能の高い灯具を採用する。			
	取組内容	「街路灯の整備に関する基本方針」に基づき街路灯の新設・改良整備を行うとともに、二酸化炭素等の削減のためLED街路灯導入を推進していく。				
	実施結果	独立柱の建替え250灯、電柱共架灯交換3,671灯、合計3,921灯のLED灯を設置した。				
事業実施における工夫点	バリアフリー工事や道路改良工事、橋梁補修工事が予定されている路線については、工事に併せて独立柱の建替を行う事でコスト削減を図っている。					
対象者	夜間の道路通行者(車両、歩行者)	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	道路法、道路構造令、街路灯の整備に関する基本方針					
他都市の状況	道路附属物として街路灯の整備を進めている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	763,153	1,030,000	751,076	725,000
うち特定財源	682,000	927,000	616,000	652,000
人工	0.1	3.6	3.6	3.5
人件費	720	25,920	25,920	25,200
計(事業費+人件費)	763,873	1,055,920	776,996	750,200
事業費の内訳	令和3年度決算	LED街路灯・トンネル照明・共架灯設置費 724,559千円 工事実施設計 25,567千円 事務費等 950千円		
	令和4年度予算	LED街路灯・トンネル照明・共架灯設置費 713,816千円 工事実施設計 10,184千円 事務費等 1,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	LED街路灯の設置灯数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1,657灯	4,240灯	3,921灯	4,240灯	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	市設街路灯におけるLED街路灯の比率			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	52.60%	54.30%	59.80%	65.40%	
成果指標2	指標名	老朽化街路灯建替基数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	350灯	290灯	250灯	290灯	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	LED街路灯に切り替えることにより省エネルギー化を進めている。 また、老朽化した独立柱の建替により安全対策を図っている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	点検結果を踏まえ、計画的な更新・LED化を進めており、事業規模は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	点検結果を踏まえ、対応が必要な街路灯から優先して更新している。 バリアフリー工事や道路改良工事、橋梁補修工事に合わせて街路灯を設置することで効率化を図っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	LED化による省エネ・節電効果及び計画的な建替による安全性の確保を行っている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	小規模附属物維持管理計画に基づき、独立柱の建替えのほか補強・補修を取り入れることで、さらなる効率化を図る。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	・独立柱の共架化による安全性の向上 ・点検結果による、危険な街路灯の撤去や共架化		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	・独立柱の共架化による安全性の向上 ・点検結果による、危険な街路灯の撤去や共架化				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 老朽化独立柱の共架化を推進し、LED化を進めていく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 独立柱の更新は費用がかかることから、更新の基数を一定数確保しながら独立柱の補強・補修を図り、延命化を実施していくことでライフサイクルコストを抑える。		見直し効果額	0